



つながる、深まる、共感する

交流学習!

「総合的な探究の時間」における県立会津支援学校の取組②

「大熊町の方々との交流会」 高等部2学年

交流会の様子

高等部2学年の今年度の総合的な探究の時間のテーマである「大熊町の人々と共に生きよう」に基づいて、一般社団法人おおくままちづくり公社の佐藤様と7名の大熊町民の方々においでいただき、今年の11月に「大熊町の方々との交流会」が開かれました。

今回は、3部構成で行われた交流会の様子を紹介します。

《第1部》 大熊町について学んだことの発表



第1部では、大熊町の特産品や伝統文化、イベント、避難解除後の町の様子などについて学んだことをスライドで提示しながら発表しました。

7月の「大熊町の方の話を聞く会」や、9月の「大熊中学校との交流会」を通して、実際に会津に避難生活されている大熊町の方々の話を聞き、理解が深まったことや自分なりに感じたことを伝えることができました。

《第2部》 「おおくま・おらほのカルタ」の体験

第2部では、「おおくま・おらほのカルタ」の制作に携われた大熊町の方に読み札を読んでいただき、大熊町の方々と一緒に生徒全員がカルタに取り組みました。

大熊町の方々と楽しそうに話す生徒の姿が見られ、大変盛り上がりました。



【大熊町の方々と「おおくま・おらほのカルタ」を楽しむ生徒】

《第3部》 大熊町と会津がつながるプレゼント贈呈



【クリスマスツリーを贈呈する生徒】

第3部では、交流会に向けて準備したクリスマスツリーを大熊町の方々にプレゼントしました。普段、作業学習で学んでいる技術を活かしながら、各作業班でプランターやオーナメント、ガーデンピックなどの飾りを作り、大熊町と会津がつながる心の込めたプレゼントを贈ることができました。

交流会を通して、大熊町の方からは「感動した。辛いこともあったけれど、今日は元気をもらうことができた」などの言葉をいただくことができました。

交流会後は、これまでの様々な学習を振り返りながら、「共に生きる」ことについて考え、さらに理解を深めることができるように学習を進めていきます。

参加した生徒の感想を紹介します。

生徒の感想(抜粋)

- 緊張したが、交流会を楽しむことができて良かった。
- 大熊町の方に「ありがとう」と言われて嬉しかった。
- 町の方たちと一緒に「おらほのカルタ」をすることができて楽しかった。また一緒にカルタをしたい。
- 大熊町の方々が楽しそうに笑ってくれていたのが良かった。
- 来年も交流会をしたい。来年は、一緒に何かを作りたい。
- 来年は、会津磐梯山や宝財踊りを一緒に踊りたい。
- 大熊町の皆さんが、今も大熊町のことをたくさん愛していて、会津に避難した後は、会津のことも好きになってくれたことが伝わってきました。



【大熊町の方々との記念撮影】



豊かな「学びの着地点」を見据えた、 意図的・計画的な学びの展開！

「大熊町の方々との交流会」を学びの着地点に見据えて、学びの対象となる大熊町について理解を深める、分かりやすくまとめて発表する、プレゼント制作を通し思いを形にするなどといった一連の学習活動を、意図的・計画的に展開しています。生徒の感想からも、本單元における目的が十分達成できたことがうかがえます。

「チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業」の活用

会津支援学校では、本單元における学習活動にかかる経費を確保し、学びを充実させるために、県社会教育課の「チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業」に応募し必要経費の補助を受けて取り組みました。